9月15日 木曜日（14日夕刊発行）
昭和30年 西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5

第3219号（昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認 第232号）（中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内鎖証報備内台警字第0136号）

天気予報
今晩 北よりの風曇りがち
明日 北の風晴れ

日米会談・日比賠償など追及
参院外務委

参院外務委員会は十四日午前十時十五分開会、重光外相、園田外務政務次官らの出席を求め、[illegible]


参院外務委で答弁する重光外相・右は石黒委員長

借款、賠償に非ず
外相答弁 実際額は5.5億ドル

[illegible]

"海外派兵"を否定
外相報告

い。日米会談における私の意図は日本の防衛を米国だけに負担させることを是正することである。[illegible]と平和を維持するため緊密に協力することになった。防衛問題については安保条約や行政協定を改訂したい。との意向を表明、防衛分担金問題を含め東京で日米間の話合を進めようということになった。中共貿易については品目の拡張を検討しようということになった。

韓国兵、無査証で日本に入国

【京城十三日発UP＝共同】韓国国防省筋では十三日百名以上の韓国空軍兵が昨年中に米軍の訓練を受けるため日本政府の査証なしに日本に入国したと言明した。

衆院はお流れ
外務・内閣委協議会の開催

民主、自由、左右両社の四党は十四日午前衆院議長室で中村民主、田中自由（代理）成田左社（代理）河野右社の国会対策委員長会談を開き、前日から持越しの衆院外務、内閣連合委協議会開会問題について協議した結果、民主党が鳩山首相の出席は二十七日以降でも確約できないとの態度を示し自由党側も鳩山首相が出席しなければ協議会を開かないという態度で両社と対立したため、決裂となり、協議会は開かれないことになった。

このため両社は民主自由のなれ合いであるとし、今後は参院外務委員会に重点をおき鳩山首相はじめ関係閣僚の責任を追及する方針である。

外交代表を交換
ドイツ捕虜、近く送還
西独・ソ連 外交関係樹立

【モスクワ十三日発UP＝共同】難航を続けたモスクワの独ソ会談は十三日の最終日、アデナウアー首相を議長として午後三時（日本時間午後九時）からスピリドノフカ宮で開かれ、両国首相は意見の調整に努めた結果午後八時十五分（日本時間十四日午前二時十五分）に至りようやく会談をまとめ上げるのに成功、ブルガーニン・ソ連、アデナウアー西独両国首相は午後九時十分（日本時間十四日午前三時十分）ついに両国間に外交関係を樹立することにかんする協定に調印した。

最終コミュニケ

【モスクワ十三日発ロイター＝共同】十三日行われた独ソ最終会談ののち最終コミュニケと独ソ両国首相が交換した書簡二通が発表された。コミュニケの要旨つぎのとおり。

西独の内閣および議会とソ連最高会議の承認をのちほどうるものとして独ソ両国は外交関係を樹立すること。このためボンとモスクワにそれぞれ大使館を創設し、特命全権大使の資格をもつ外交代表を交換することについて意見が一致し、これを交換公文に訳した。

なお右のコミュニケは『独ソ両国は正常関係の樹立がこれまで明確にされていない諸問題の解決に貢献するものと考える』といっているだけである。

国外にいる筈
日共発表 その後の伊藤律氏


伊藤律氏

日本共産党は十四日午前十一時代々木の党本部で記者会見を行い、党を除名された元同党中央委員伊藤律氏（四二）について『伊藤は目下国外にいるものと思われる』と発表した。

粋人酔筆
色町の女と父親



この欄の粋友吉田機司さんの随筆の中に

鳳凰の卵、人参代で売り
人参が出来て、看病一人へり

という古川柳が掲げられていた。その解釈によると、鳳凰は吉原の太夫職の遊女のことで、父親の重病を救うために、年若い娘がその身を花街に売って、父親の人参代にするということである。

昔はそういう感心な娘が多かった。

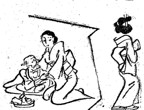
大正十二年頃、四谷の荒木町にいた十六才の美妓おはんという上品な妓は、父親が半身不随で倒れたのを救うために、十四才の時に花街に身を沈めたので、その感心な心がけに感激して、当時私が愛し続けていたが、その後、その父親が死に、本人もまた病気で死んでしまった。

近頃の若い芸妓は、自分が金をもうけて、ぜいたくをしたいために花街に入るものが大部分で、父親などはどうなろうが、自分の知ったことでないという、新憲法型の不心得ものが多い。

しかしそれは何も終戦後の現象に限るわけでなく、古くからあったことであるが、以前の社会は、そんな女を不人情な、犬猫のような者だとして、世の中が指弾した。

その面白い一つの実例がある。

今から二十年前の昭和十年のことであった。深川に藤田某という男がいた。一人の男の子のほかに、しず子という二人の娘があったが、大正の中頃から事業に失敗し、加えるに細君は病死してしまったので、兄の方だけを残して、しず子は六才の時に僅か七円で麻布の芸者屋へ売ってしまって音丸と名乗り、美貌のために売れっ妓の中に数えられていた。



その後、しず子の父はますます貧困に陥りバタ屋をやっていたが、遂に無理がたたって病気になり、父を助けるために無理に働いた男の子は死んでしまったので、病気の父親は世話するものがなく深川浜園町の無料宿泊所から、深川病院へ運ばれることとなった。

その時、父親は宿泊所長に向い、『実は私の一人の娘しず子が赤坂で立派な芸妓になっているという話だから、それを尋ねて、入院の費用をもらって来て下さい』と申出た。

そこで所長は早速赤坂の芸妓屋に電話をかけたが、電話番号が一つ数字が違っていたので、信月田屋でなくて萬春本という芸妓屋に電話がかかった。

『あなたの家に本名をしず子さんという芸者さんがいますか』といったら、その家の小のぶという芸名を持った芸者の本名が偶然しず子だった。

そこで所長は『あなたの実父の藤田という人が重病で入院するから直ぐ来てくれ』といったので、小のぶのしず子は非常に驚いた。

今まで自分の父は神谷といったのに、実父は藤田というのだというので、驚いて早速実家に行き、父親の神谷氏に、

『私には実父の藤田という人があるのを、なぜ今まで私に隠していたのですか』となじった。神谷氏も驚いて、『そんな馬鹿なことはない。自分がお前の実父だ』というので、小のぶは父の神谷氏と共に藤田氏の無料宿泊所を訪問して、真相を確かめることになり、藤田氏に逢って初めて電話の間違いということが判り早速帰って検番を調べた結果、それは信月田家の音丸のしず子と判った。小のぶは音丸にその父の困っていることを話したが、音丸は父が自分を六才の時に七円で花街に売ったことをいい立て、そんな父親には義理も恩もないから、死のうと、どうしようと知ったことではないといって、どうしても父を訪ねようともしない。

小のぶは電話が間違って自分の所へかかって来たのも、奇しき因縁である。自分が音丸の代りに父親として面倒を見てやろうと申し出て、自分の衣類を売って藤田氏を病院に入れ、その後毎月のお座敷のかせぎ代を半ばさいて、藤田氏に月々仕送りをして助けたという。

当時の新聞はこれを六段見出しで大々的に扱い、音丸を悪妓、小のぶを侠妓と書いて、善玉悪玉の実例とした。

最近の花柳界の傾向は正に『小のぶより音丸へ』と申すべきか。

田辺楨一



お道楽拝見 ①
里神楽
さし絵画家 田代光氏

○…テンツク、テンツクのはやしにのってヒョットコの面をかぶって踊るはさし絵界の中堅田代光氏である。

ひょうきんな中に哀調を秘めたこの踊りは、神代につらなる伝統の里神楽―面はオカメ、お姫様といろいろある。

○…田代センセイは東京下谷の下町育ち、神田明神の祭ばやしに魅せられて以来、踊ってみたいという妄執にとりつかれた。念願かなったのは昭和二十五年、今村恒美、木俣清史氏など悪童連とワイワイガヤガヤの一席であった。

○…それからは、道を歩きながらテンツク、テンツクと踊り歩いて気ちがいと怪しまれたり、谷中の墓地で踊る宗教よろしくの修行をやったりの甲斐あって同年上野韻松亭に作家、画家を集めて披露をするまでになった。

○…これで度胸完成、いらい三越文人名人会、能楽堂、はては真間の手古奈にまで出演、名優ぶりをみせている。（豊）

東京株式仲値
□新株落△配当落
（14日前場終値）

				倉レ	104	小西六	125
				旭化成	373	カボン	41
				山陽パ	117	三井物	191
特定銘柄		信越化	81	日本パ	112	第一物	135
		東亜化	132	国策パ	123	白木屋	240
東海上	272	昭電工	95	東北パ	133	高島屋	83
郵船	68	日本曹	91	大東紡	100	日活	73
新三菱	84	旭電化	81	商船	50	松竹	199
日清紡	275	三菱造	89	三井船	54	東宝	1310
味の素	282	三井造	120	飯野海	58	大映	192
三越	311	三菱重	60	西武	360	日本粉	138
三菱地	499	石川重	92	藤田興	232	日清粉	162
平和不	220	椿工	132	東京ガ	73	日本ビ	174
三井金	117	東洋ベ	110	東電	578	朝日ビ	185
三菱金	116	日立造	54	日銀	2050	キリン	207
日鉱	114	浦賀	53	東銀	59	宝酒造	105
住友金	121	日平	19	三井銀	70	台糖	261
三菱鉱	50	古河電	74	富士銀	88	明糖	137
古川鉱	85	日立製	76	日証金	88	甜菜糖	142
同和鉱	144	東芝	67	安田火	115	野田醤	193
住友炭	65	三菱電	94	大正海	103	森永	284
三井山	67	小松	51	住友海	93	明菓	184
北海炭	69	日本光	137	千代田	80	日水産	88
東邦亜	69	キヤノ	152	鋼管	79	昭和産	100
帝石	78	東京光	—	日製鋼	68	東洋醸	80
日石	115	東洋紡	150	八幡鉄	60	合同酒	140
昭和石	138	鐘紡	128	富士鉄	54	三楽	107
東燃	131	富士紡	114	神戸鋼	55	大阪糖	175
三菱石	132	大日紡	88	日特鋼	114	王子紙	222
大協石	132	日東紡	61	日軽金	206	十条紙	242
日東化	84	片倉	39	日金工	68	本州紙	91
日産化	75	東邦レ	112	日セメ	158	三菱紙	89
三菱化	97	帝麻	46	磐城セ	260	北越紙	61
三井化	116	中織	49	小野田	91	三井不	804
協和醗	119	帝人	145	横浜ゴ	153	三井倉	87
東合成	127	東洋レ	191	旭硝子	157	渋沢倉	79
三共薬	175	三菱レ	129	富士写	143	東洋埠	185

市況
小幅続進

きのうの地合好転をながめて、大証券が再び一流雑株に大口買をそそいできたので、全般の市況は商内活発のうちに小幅続進歩調をたどった。特定株は平和不中心に大証券の買気もみられ、概して好調にはじまったが引際は戻り売におさえられて、三越が四円方反落したほかいずれも前日にもみ合となった。

雑株は食品、電力、商事株の一部に買気が続いて堅調を保ったほか非鉄金属、海運、機械株の一角が物色されて四―五円から十円方高いものが多く、全般は引続きジリ高の場面であった。

▽高い株＝日鉄二十円、中部電十円、日本レース七円、化工機六円、合同酒、大阪糖、第一物、住商、明治海、三洋電五円、東京建物、日立工四円

▽安い株＝西武五円、関西電、三越四円

地獄耳
自画自賛する
小泉純也氏

松田鉄蔵氏が意気張りすぎて運転手の免状を取上げた事件で、代議士連が"本人は血の気が多い軽卒男だから、あやまれば許されるだろうが仲間うちの評判を悪くして困るよ。北海道開発庁政務次官などのような選挙区関係の役人にせず、他の政務次官に回せばよかった"と当惑顔でウワサ話をしていた。

同じ時すこし離れたところで、小泉純也氏が"夏の暑いさ中に、半月もかかって北海道を回りました。ホンの一角を残しただけで、法務関係の視察やら、党の遊説やら、随分汗を流しましたよ。日本の代議士にも、マダこのような雄弁家がおったかと、奇異な感じを与え、青年・婦人・中堅各層に、それはそれは深い感銘を与え、盛大な拍手の絶えるいとまもないほど歓迎されました。まことの話ですよ"と顔をマッカにして実情を物語っていた。そういう次第なら、松田氏に少々不手ぎわがあっても、党としての消長に変化ないかも知れず、仕方がないわという者、それはマアよかったという者で意見マチマチ。

ないがい川柳
吉田機司選

海の子と山の子といる新学期　江戸川　伊沢久坊
運転手バックミラーにあてられる　福島　佐々木政信
間借りするマンボ小さく歌ってる　市川　鳳太郎
基地騒動オンリー洋パンそっぽ向き　板橋　宮永思燕
眠くなる良書へ虫の声しきり　千代田　南渡波
女秘書堕ろすに社長の知恵を借り　中野　高野芸太郎
【賞】砂川と砂田ニュースを奪い合い　文京　洋月

内外抄

ソ連、西独間の国交回復はびっくりニュース。世界平和への一歩前進だ。でかしたソ連。

◇

日本人戦犯の釈放はやっぱり平和条約までお預けで交渉は漫々デー。でかさぬソ連。

◇

憲法改正で海外派兵ができても場合によると首相いう。絶対出さぬとなぜいわぬ。

◇

『暴力教室』を見せるなと文部省が通達。暴力教室になってる砂川の写真も見せたくないね。

◇

ますます不評の『暴力教室』小林一三さんの目が黒いなら東宝は引っこめるがね。

財界春秋
自動車の悲喜劇
三鬼陽之助

数年前から、朝日麦酒社長の山本為三郎氏は、日本に二、三台しかない『ロールスロイス』を走らせて、毎日出社していた。当時、天皇は一級下の『キャデラック』で、昔なら差当り不敬罪。お手討というところだが、ビールのような人気商売になると、日本一の車に乗っていること自体が宣伝になって、御本人は得意であった。この天皇と同じ『キャデラック』を、日平産業に乗込んだ宮嶋鎮治社長が一台買い込み、ピカピカ光らせて、赤坂の名妓『秀駒』を箱根の強羅ホテルに送りこんだという話は余りに有名である。

合同証券社長の佐藤和三郎氏は『リンカーン』で、ゴルフに出かけるときは、時に愛人が鎮座している。論客千代田生命の井沢富代磨氏は、平取締役から常務に昇進して漸く、安上りの『ビュイック』に乗っているがそれでも嬉しそうである。同業の富国生命社長の森秀臣氏は、常務から専務になって、従来の二人乗りが専用となり、さらに社長に昇格して一段と高級車に変った。藤田興業の小川横紙破り社長は、ながく月極め自動車を平然と走らせていたが、この一、二年前から立派なのを買った。馬子にも衣裳で、自動車に乗っている間だけは、若干社長らしくなった。

カクテル・パーティで、何百という自家用車が並ぶ光景は壮観である。それが、ある種の財界図ともなるからだ。ことに財閥系大会社のそれに、たまたま出席して痛感することは、かつての大御所が、いまは閑職に落ちて、シボレー、フォードの中ブルを呼んでいるのに対し、終戦当時は一部長、末席取締役だった連中が、いま『何々社長のおくるま』と、悠然と構えて見送られる図に接するからである。しかし、考えると当然のこと。あの自動車は個人のものでなく会社―社長、専務用で、その椅子を離れるとオサラバの運命になる。日平を離れた宮チン氏は、もう『キャデラック』には乗っていない。月極めハイヤーか、時に円タクをひろっている筈である。

先般、丸ノ内を歩いていたら『ヤア…』と、七十円の円タクから声をかけた男がある。見れば旧知の釘宮八郎氏である。日本曹達の解体で、一取締役から日豊化学工業という分離会社の社長となり一時は何億円の外資導入の夢をみて盛んに活躍していたが、いまや万事夢果ててしまった。最近の消息は知らないが、白昼、丸ノ内をオンボロ円タクを走らせる様では…と、あわれに思うと同時に、その全盛時代、風をきってわれわれなど見向きもしなかった横柄・豪勢ぶりが、目にチラついたのである。

『浪人して自動車を取られるのが一番つらくて…』と、誰もがいう。それだけ、地位があがって、一段高価な自動車に乗るとうれしいらしい。しかし、昔の社長は、浪人しても自動車はもちろん、その愛人もおおむねながく離さなかった。それを思うと自動車に別れることとが、万事に別れることになる今の社長稼業はあわれである。

青春無宿 (128)
大林清 作　下高原健二 画

誤解（一）

どの部屋も寝しずまっているので木崎真弓の部屋の前へ立ったものの、次郎は声をかけるのがためらわれた。

『やっぱり帰りますわ』

光代もここまで来て気おくれしたらしい。

『いや、待ってらっしゃい』

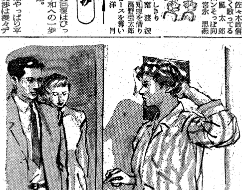
次郎は思いきって拳をあげると、ドアへ軽いノックをあたえた。

返事はなかった。

今度は少し強く叩いてみた。寝がえりをうつ気配が聞えたようだった。

『帰っていますよ』

次郎は何かホッとする思いで、光代をかえりみた。この深夜に池袋の先まで帰るには、むろんタクシーよりほかに乗り物はなく、そのタクシー代も光代にとっては決して安いものではない。それだけのことなら、次郎の持ち合せでこと足りたのだが、あまり夜が更けすぎてしまったので、家へ帰りずらいらしい光代の様子だった。それならばいっしょに銀六アパートへ来て、真弓の部屋にでも泊ったらどうかと次郎がすすめ、光代もその気になってここまで来たのである。



『木崎さん、木崎さん…』

次郎は口をドアの隙間へ寄せて呼んだ。

『はい』

びっくりしたらしい寝呆け声が答えて、

『どなた？』

寝床の上へ起きなおったらしかった。

『宇田だが、ちょっとあけてくれないか』

『宇田さん？ どうしたの？』

まだほんとうには眼がさめきっていないらしい。壁へぶつかる音をたてたりしながら、ドアのむこうへ足音を近づけて、掛金をはずす様子だった。

『おそいのにすまない、ちょっとたのみたいことがあったんで…』

それには答えず、真弓はドアをあけた。

『あらっ』

真弓が声をたてたのは、次郎の後に小さくなっている光代を見たからだった。

『光ちゃんじゃないの、いま頃までどうしてたの？』

真弓は光代が次郎にとどける服を持って出たのも、それきり店へ帰らないのも、むろん知っていたにちがいない。

『用事でまわった先でおそくなって、そこへ僕が行きあわせたわけだ。これから帰るのも大変だし、家でも泊った気でいるだろうってんで、君のところへ厄介になったらどうかって連れて来たんだよ』

次郎はそう説明こそしたが、実は真弓がドアをあけた途端、部屋の中にまだ誰かいるのを感じとっていた。

真弓はようやくねむ気がさめたらしく、雀の巣のようになった髪をかきあげながら、

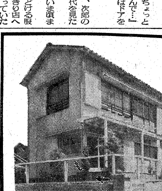
『宇田さんのところへ泊めてもらったらどうなの？』

と、次郎から光代へ眼を移した。

『僕の部屋じゃ気がねだろうから君にたのもうと思ったんだが…』

『いつもならいいんだけれど、今夜はお客様があるのよ。でも、雑魚寝する勇気があるんなら泊ってらっしゃい。お客様は光ちゃんのよく知ってる人だわ』

真弓は意味あり気にニヤリとした。





黒人社会の性態

黒人社会の性態は特異な様相である。近着のアメリカの新聞雑誌等の社会面から、面白いものを次に抜萃して参考としよう。（登場人物全部黒人である）

1 36貫の加虐・マダム

ジョージア州マコンでの出来事である。夜十一時過ぎ、パトロール中の警官が突然悲鳴を聞いた。驚いてドアをこじあけて部屋の中にとび込むと、一人の男がベッドに縛りつけられて太いゴム管でしたたかに撲りつけられていた。取調べると、縛られていたのは夫でウイルといい、体重は一九〇ポンド、撲っていた女はその妻のリリアン・バアで体重は三〇五ポンドの大女、取調べの警官に対して彼女は平然と『だって夫は程よく撲られるのが好きなんですもの』と答えたという。風俗を乱したというので、五十二ドルの罰金に処せられた。



トンボのような夫ウィルとタンクのような妻リリアン

2 同衾中を警官が踏込む

ニューヨーク市の医者ウォルター・メリック博士(六〇)は突然午前二時四十五分に警官に踏み込まれ、真裸の女と同衾中を取り押えられた。警官を案内して来たのは、メリック前夫人(五四)で、同博士は患者を診察していただけだと主張したが、メリック前夫人は承知せずギュウギュウの目にあわせた。この夫婦は三年前に正式に離婚したのだったが、一週三十五ドルの離婚手当を支払わず、千ドルを滞納していたので、警官達に博士の醜行を暴露して、女に支払う金があるのに、自分には離婚手当を支払わないことを実証するのが目的であるといった。



メリック前夫人

3 電話で逢引き強迫

テネシー州ナッシュビルの二十一才になる労働者アンドリュ・トマス・ストンは十九才の白人娘にしばしば電話をかけ、今晩デイトしないと殺すぞとおどし、千六百ドルの科料に処せられた。この男はそれまでに三十一回も同じような罪を犯していたので、上述の千六百ドルを支払うか千六十六日の強制労働に服するかの判決をいい渡されたのであった。

4 出歯亀の郵便配達

ワシントン市の速達配達人のマウリス・ウッズンは上院議員マグヌーソン氏並にジャクソン氏の三人の女秘書のアパートにくぎで穴をあけ、しどけない三人の肢態を見ては、ヤニ下っていたところを取り押えられた。当人は取調べに際して『出歯亀をしたのではありません。三人がスパイではないかと探っていたのです』とシャアシャアとして申立てた。

5 九才の娘と近親姦

ロスアンゼルスに住む今年四十四才になるヴォルター・ロリンスは、自分の本当の十二才になる娘と近親姦を行なっているところを妻に発見され、訴えられて投獄された。娘の自白によると、この父娘の肉体関係は彼女が九才のときに始り『お母さんにいうと殺すぞ』といつもおどかされていたという。

6 冷淡な彼女への復讐

ワシントン市のヘイウッド・ルフィンという三十一才の男、日頃仲よくしていた未亡人が近頃冷淡になったのを憤慨、彼女の一人娘で祖母の所にあずけてあったパトリシア・ハムモンド嬢(一三)を言葉巧みに自動車でメリーランド近くまで連れ出し、その肉体を奪った。捕縛された時最初は『実は私の恋人の未亡人の所まで連れて行くつもりだった』と犯行を否認したが、とうとう隠し切れず『余りにあの娘が恋人に似ていたので、つい……』と犯行を自白した。

7 六人組で少女を輪姦

ロスアンゼルスでジミー(一〇)ウィルバート(一五)ジョージ(一三)アルヴィン(一三)ベル(一六)ランドルフ(一七)という六人組の黒人が逮捕された。彼等は十三才になる白人の小娘を甘言をもってだまし、六人で輪姦したが、娘がその両親に告げなかったことを奇貨とし、その後は下町の安宿で他人に売春させ、子供にはキャンデーを与えていたのだった。事件が発覚したのは、娘が二人の黒人と自動車の中で戯れていたのを、警官に発見されたからだった。



あちらの社会面

お寝み前に爪の手入れをするのが近ごろレディのたしなみかどうかはいざ知らず、ましてパジャマは上着だけに限るというのが彼女のご趣味かどうか、そんな詮索はお暇な方に任せておくとして、このミメ美わしき女性はいまパラマウント映画が売出しのリタ・モレノ嬢。目下『ザ・ヴァガボンド・キング』なる映画に出演中とあって、中南米はプエルトリコにロケのおり、狂熱の孤独にかり立てられたかどうか、かくも悩ましきスタイルで夜々を過した…と想像して戴きたい。【写真はNANA特約】

モダン歳々記　大正の貯金魔

大正十四年九月十五日朝、東京地裁の判検事一行は、貴族院議員高柳淳之助の自宅、事務所の家宅捜索を行い、トラック一台、乗用車二台に書類を満載して引きあげ、高柳を市ケ谷刑務所に収容した。

何しろ相手が貴族院議員であるから世間も驚いたが、いつの世にも欲張り連中はいるもので、ちょうど保全経済会の伊藤斗福のように、彼のハッタリによる『一万円貯金法』に吊られてなけなしの金を彼の会社の無価値な株券購入費にあて、最後の一銭まで捲上げられた者も少くなかったのだ。彼はこれで土地の横領、公文書の偽造、おまけに多額納税議員の選挙違反まで暴露したのであった。

高柳は茨城県に生れ、十七才から二十四才まで小学校の代用教員を勤め、二十五才の時には上京し、神田駿河台の国民中学会の発送係となり、大正六年五月、農工債券株式会社を創立、これが当って財をなしたのである。いわゆる近代的知能犯で、純朴な地方人を新聞広告で集め、労せずしてもうけようという根性につけ入ったのだ。粒々辛苦の貯金をゴッソリだまし取られた人達こそみじめだった。（鮭）

奇怪極まる人工妊娠

距てた獄房で性の交換

もう一人の女が仲介

一目惚れ！あばずれ女囚が"小娘"に

今流行の人工妊娠！それにしても、これはまたなんと奇怪な人工妊娠事件だろう。一九五四年秋、場所はペンシルバニア州オールゲニーという町の監獄内の出来事である。囚人のミロ・ジョン・スカーキックという男は文書偽造で入獄。ガッチリした体格で、見るからに精力的な男。胸と両腕は毛むくじゃら、内に燃えさかる情欲はどうすることも出来ないという男だった。それをまぎらわすために、ミロは獄内の映画館に行ったり、教会に出席したりしたが、やはり大枚二十一ドル出して買った『性の技巧と産児制限』という本を読み耽ける日が多かった。

ミロが初めて女囚のグレース・ラスムッセンを見たのは、獄内の教会であった。グレースはすんなりした美しい女で、囚人服を着た他の女達と並んで座っていた。しかしこれらの女達は説教を聞いている振りをして、男囚の方をながめているのだった。グレースは男囚の中に、鼻の高い、ガッチリした、胸毛の多い、いかにも精力的なミロを見ると、まるで小娘のように胸が高なり、ほおが熱くなるのを覚えた。その夜、グレースは鼻薬を利かして、初めてミロに恋文を送った。

グレースは二十三才。ピストルを発射して強盗を犯して入獄、その間女看守を襲って四回も脱獄を図り、通算二十年の刑を言い渡されている女囚だった。ミロはオハイオ州のクリーヴランド大学で産児制限の話を聞いたことを思い出した。それで数回恋文を交換した後で、ミロは自分の奇怪極わまる計画について縷々とした手紙を書いた。グレースは直ぐ『貴君は監獄のことをよくお知りにならないのです。その単調さには死にそうです。変ったことなら私喜んで賛成します』という返事を出した。マリー・リー・サバーという淫売婦がいた。彼女の高窓の窓ガラスが破れていた。ミロはマリーに渡りをつけた。そして秘かに灌腸器三本を手に入れると、その中に自分の精液を一杯つめ、それを破れた窓ガラスからマリーの部屋に落して、グレースに渡してくれるように頼んだ。マリーから灌腸器を受けとったグレースはその夜、精液の入った三本の灌腸器を挿入した。カラになった灌腸器は再びミロの許に送られた。かくて奇怪極わまる性の交歓が続けられたのである。後でわかったことだが、驚いたことに、グレースは一度だけ、こっそりとマリーと部屋を入れ代って、男でも登れそうにない窓に登って、破れガラスの間からミロとキッスしたという事実があった。

かくてグレースは妊娠した。女囚の妊娠に監獄側はろう狽した。グレースは事実を全部誇らしげに自白した。ミロは最初は事実を否認したが『それでは一生監獄を出さない』とおどかされ妊娠五ヵ月目にこの二人は監獄内の教会で結婚式を挙げたのだった。さる六月生れた子供は七パウンド（八百四十匁）あった。子供を生むと、グレースは全くその性格を一変させた。独房の壁には子供の写真と自分で描いたキリストの水彩画を掛けた。しかしミロには少しも変化は見られなかった。間もなく刑期を終えて出獄した彼は、またも不渡手形を発行して捕えられた。取調べの結果、彼は出獄すると同時に他の女と結婚していたことが判明した。彼は重婚罪で起訴された法廷でミロは『私は人工妊娠した女と結婚することは反対でした。監獄側から強制されたのです。早速離婚して、今の女と結婚します』と断言した。このことを入獄中のグレースに知らせても彼女はマユ一つ動かさず、自分の子供の写真に見入っただけだったという。彼女は、いま独房で静かにキリストの像を描いているということである。





(上)愛児の写真に見入る独房内のグレース・ラスムワセン(下)ミロ



破れ硝子窓の実地検証（中央白服がミロ）

変流世界譚 ……（イタリア）……

その一本の煙草が致命傷で一息吹込んだトタンにクラクラと目まいがしてカミロ氏は前後不覚になりました。ミラノのレストランでふと知り合った美しい女性と食事をし、ホテルの部屋に帰り、コーヒーのあとの一服というとき、その女性が差出した煙草に麻薬が入っていたのです。カミロ氏の様子を見た女性はニヤリと笑うと氏のポケット、スーツケース等から現金やら小切手、貴金属を奪うと悠々とドアの外に消えました。どの位の時間が経ったか、フト気がついた氏は重い頭で一切の事に気がつきました。"しまった"と思ったが後の祭りです。しかし早速警察に届けますと、若い刑事が来て被害状況を調べ氏に質問しました。『二十四、五才の美人ですな』『ハイ』『何故あなたはホテルに連れ込んだのです』『礼儀としまして』『ホテルに連れ込む礼儀はないでしょう。何か下心なくては』『とんでもない、私はただ考えたのです。お互いに男女一人での旅では不自由だと』

東海毒婦伝　青いとかげ (69)

野沢純　土端一美 画

蔵の中（十）

土蔵の中はぐっしょりと、夜来の雨に濡れていた。吹き込む筈もないのである。ところが、事実は蔵座敷の段梯子の一ところが雨にぐっしょり濡れている。喜兵衛は二階へ登って見た。登って思わず、

『あっ！』

とひそかに声をあげた。蔵の二階の天井から、朝日が眩しく射し込んでいるのである。見ると道具を足場にして、梁(ハリ)に登った形跡がある。梁から天井——そこの板が剥がれている。薄い屋根板が、幾枚か落ちている。梁を足場に、板を剥がして、瓦の数が、ちょうど人間一匹だけ、脱け出られる程度にはずされてある。

しかも梁の太桟には、さらし木綿の反物を、結びつけた跡がある。さらしは屋根から外側の、庭に向って千瓢のように白々と垂れている。瓦をはずして、そこから外へ逃げたのだ。夜をこめた雨の中を、一と晩中かかって必死に逃れた形跡が、まざまざと形の上に残されていた。

『しまった！』

尾張屋の口から、再び悔いの音がもれた。（ちくしょう、何処へ失せおったか！）地団駄踏むまでいまいましげな表情が、その顔おもてに刻まれていた。

——その同じ頃。

今戸の料亭『伊予松』で、ほっかりと、今目がさめたばかりの与次郎である。

ゆうべおそくなってから、雨にぐしょ濡れになってとび込んで来た、叔母のお直を見迎えて、

『叔母はん、どうしなすった？』

と声をひそめた与次郎だった。

『ドジを踏んだよ、尾張屋へはもうこんりんざい帰らないよ』

ぐしょ濡れの着物を脱いで、ありあわせのゆかたに着換えてほっと一と息。

やくざ男の甥を前にドジの始末は口にも出さず、

『源十郎はどうしたえ？』

真っ先に訊いたのは、その一と言だ。

尾張屋へ、覆面で押入らせ、まんまと運び去らせた巨万の小判——その事の方が何より先に、気になっていたのだ。

『千両箱は、だいじょうぶだろうね？』

『ところが叔母はん——』

与次郎は顔をしかめた。

『源の字は、あれっきり一度も此処へは来ませんぜ』

『えっ……何だとえ？』

お直は思わず気色ばむ。

『タンマリ礼はする約束だのに、来ないというのは、どういう訳だえ？』

『小判と一緒に何処かへ姿をくらましちゃったぜ！礼といいやァ、このあっしも、ビタ一文もまだ貰っちゃァいねえ』

『……』

『あのまま、こっそり運ばれちゃったぜ。いってみりゃァ、鳶に油揚げをさらわれた格好よ。この俺とてもあれだけの思いをしていながら、こんな間尺に合わねえ話しはねえや。しかも、昨日飛脚が届けて来た書状を、何かと思って開いて見りゃァ。

（三万両、右は軍資金として正しく領収候也）

けッ！馬鹿にしてやがらァ！何の事はねえ、とんだ骨折り損の、くたぶれ儲けだ』

ヤケのように云う与次郎の言葉を前に、凝然と、氷のように黙ったお直だ。恰もその時、ぐしょ濡れ姿で遅ればせに辿り着いたのが、尾張屋の本宅から、やっとの事で逃れ出て来た番頭島蔵。



あすの運勢 ＝九月十五日＝ 高島象山

▲一月生―自己を反省し大局に目標を求め自然的に努力して後に吉
▲二月生―気苦労多く不安あり内外共に間違い事起り易い注意肝要
▲三月生―人気や噂に乗ると失敗あり堅実に稼業を守れば無事なり
▲四月生―心静かに自然の成り行きに任せ慎重に進退すれば無事也
▲五月生―気迷い心動き好人の好餌となり迷惑災害を招き易い注意
▲六月生―何事も思いが相反し相違し易いので短気を起し失敗あり
▲七月生―何事も保守的に稼業に精励して利達あり商取引円満なり
▲八月生―何事も成否極端に流れ失態を生じ易い交際外交には不利
▲九月生―一躍進展の兆ありて物事自由に向上あり開業改革結婚吉
▲十月生―他意なく自信あることを努力するによろし旅行よろし
▲十一月生―何事も性急短慮にして事を破る心静かに時機を待べし
▲十二月生―運気順調にして栄達あるも僥倖的の態度は失敗を招く

ラジオとテレビ

14日（水）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ①子供のシンブン②童唄めぐり 三好百合子ほか 25 新諸国物語『オテナの塔』	05 英語会話◇きょうの市況 30 受信機講座 市原嘉男 40 科学小説『地球誕生』	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 スイート・コンサート 25 ファイヴゲーム 小野田	00 劇『少年宮本武蔵』 10 劇『すずらん太郎』 25 バンド・タイム	00 ポツポちゃん物語 15 少年探偵団 真杉和夫他 30 歌謡百貨店 島倉千代子
7	15 録音ニュース 30 即興劇場 舞台監督・藤倉修一 中村紀子子 加藤玉枝 大塚博 川久保潔	00 弦楽四重奏曲『狩』モーツァルト作曲 アマデウス 30 科学の散歩 ピアノ誕生（録音構成）小野俊	10 録音ニュース 20 ホームソング 奈良光枝 30 劇『織田信長』中村錦之助 水城蘭子 小沢栄平他	00 録音ニュース 10 ダリユー・シヤンソン集 30 チエミと歌えば 江利チエミ 高島忠夫ほか	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 30 ものまねノド自慢 柳家金語楼 並木路子 中島孝
8	00 ①落語『そこつの釘』三遊亭小円朝②漫談 山野一郎③落語『恩師の集い』柳家金語楼	05 苦悩する31年度予算 三鬼陽之助 渡辺孟次ほか 30 農村の歩み『病気を追放した村』（録音構成）	00 劇『珠はくだけず』賀原夏子 北村和夫 高橋昌也 30 今宵たのしく 越路吹雪 池部良 ダークダックス	00 歌のチャンピオン（準決勝東日本大会）関光夫 30 劇『娘ひとり』乙羽信子 小園蓉子 金子信雄ほか	00 私の選曲 川上哲次 20 お笑い家庭相談所 40 劇『浪花一代男』雁雀 鷹治郎 芳子 玉緒ほか
9	05 ニュース解説 小川和夫 15 歌劇『売られた花嫁』三宅春恵 山本はる子 栗本尊子 畑中更予 木下保他	00 舞台中継『妹背山婦庭訓・吉野川の場』松緑 梅幸 左団次 福助 菊蔵ほか（新橋演舞場より）	10 追憶の泉『故郷に寄せて』柳沢真一 楽団プーレ 30 しろうと寄席 牧野周一 木下華声 春風亭柳好	00 "錦ちゃん祭り" 中村錦之助（産経ホールから） 30 S盤アワー『パリ・恋人の街よ』『旅情』ほか	00 劇『もう夜があける』津村悠子 伊志井寛ほか 30 浪花節『五ツ木物語・母の愛情の巻』二葉百合子
10	15 新しい道 青山京子 山内雅人 荒木玉枝ほか 40 ラジオ喫煙室 森繁久弥	00 ①初級解析(1)佐藤忠②上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇『人情馬鹿物語』 30 L盤アワー シナトラ他	00 大学受験秋期実力養成講座 英文法 野原三郎 30 国語（現代文）塩田良平	00 劇『南無三宝』本郷秀雄 35 巴里の街角『レオ・フエレ作品集』解説・芦原英了
11	10 英国の芝居 北村喜八 20 随筆『仲秋明月』川田順	05 共同施設の効果 20 学童結核の治療 上島三郎	10 空中劇場『山月記』大木民夫 浦野光ほか	00 斬捨御免『暴力映画』 30 ショパンの『葬送』	00 スポーツ・カレンダー 15 岸民主党幹事長にきく

テレビ

★NHK★ ◆6・00『家なき子』かかし座◆6・30『豊作と国民生活』楠見義男ほか◆7・10 こんにゃく問答◆7・30 文楽『艶容舞衣・酒屋の段』桐竹紋十郎ほか◆8・00 プロ野球実況『毎日―阪急』（西宮球場から）

★NTV★ ◆6・00 世界ニュース◆6・15 漫画映画◆6・30 ゼスチュア・クイズ◆7・00 国際ニュース◆7・30 全日本バンタム級タイトルマッチ実況『小室恵市―手崎弘行』ほか◆9・30 テレビごよみ 徳川夢声

★KR★ ◆6・00 マリオネット『安寿と厨子王』◆6・20 映画『手をつなぐ少年達』◆7・00 映画『いとし子と耐えて行かむ』◆8・45 映画『森林鉄道』◆9・10 コメディ『新婚ホテルは大騒ぎ』（東京宝塚劇場から）

あすの番組

7・45 朝の訪問 高杉晋一	7・30 原子力の解放 坂田昌一	8・20 ラジオ・スケッチ	8・25 おしゃべりレデイ	7・35 放送論壇 坂西志保
8・05 名演奏家の時間	8・00 保護指導所を訪ねて	9・30 音楽の花園 カナリヤ	9・30 劇『青春のあるところ』	8・00 劇『サザエさん』
8・30 年の功亀の功 安西愛子	8・30 大作曲家の時間	10・10 名作アルバム女中っ子	10・40 劇『君ひとすじに』	9・00 連続劇『お笑い一家』
9・15 便利な家庭用品	9・00 きょうの学校放送	11・15『しいのみ学園』	11・35 連続劇『東京の人』	10・00 やりくりチヨ子さん
10・05 けさの話題 小田善一	10・30 宇宙のなりたち	12・15 漫才 英二・喜美江	12・00 昼の演芸◇歌の花束	10・15 年寄の幸福 大浜英子
11・15 朗読『赤いサンダル』	11・15 日本の昔『都市と農村』	1・30 豊作がもたらしたもの	1・15 落語『ガード下』柳昇	11・00 連続劇『悦ちゃん』

その道をきく

どんな商売でも、権威、成功者と呼ばれる迄には、それ相当の苦難もあろう。そこをどう乗り越えたか？"その道をきく"のは、以って他山の石としたい念願にほかならない。

万人が賞讃する味 "さくら鍋"の歴史と永瀬氏



みの家 永瀬実氏

"天高く馬肥ゆる秋"というがこればっかりは馬にとってはご難。深川森下町交叉点際の『みの家』の"さくら鍋"として名高い『みの家』のハナシだ。"さくら鍋って何だい？"と今更問う程の不粋の方は高見順の名作『一回だけの招待』を読んでみること。いわゆるオジサマがファッションモデルのニューフェイス通称チャコをつれてこの店を訪ずれる。しかし、この店を訪ずれて、馬肉の味に舌づつみを打つのは小説中の人物ばかりではない。いまを時めく落語界の大御所志ん生を始め、貞丈、文楽などの深川っ子。宮城マリ子や笠置シヅ子、はては浅沼、河上と左右両派の社会党の領袖などが三日にあげず通いつめているほか、深川界隈は勿論、東京中にその名を知られて、食道楽や一般大衆が心よい夕食の席に利用しているのだ。

朝日、産経などのニュース面を味で賑わすほどの店だから、有名なのは当然としても、何よりもこの店を東京名物に仕立上げたのはその味と値段である。

一人前70円。一杯のんで飯を食べても百四、五十円あればOKという安さは確かに大衆のものだが、しかし味は天下の逸品、ケトバシなどと軽蔑する向きは騙されたと思って一度食べてみるといい。特殊なタレですき焼するこの鍋は、肉も柔らかく、臭気もなく、豚、牛に勝るとも劣らぬ味だ。

創業は明治30年、60年ののれんを誇る店だが、当主永瀬実氏は二代目、先代の"大衆に愛される料理"のモットーを守って、到底70円とは思えぬ味と量を提供している。最近は映画『足摺岬』のロケ地としても使われたが、あれから店を新装、二階建、百坪近い堂々たる料亭となった。一、二階合せれば一度に二百数十人の客を収容出来るスペースと設備をもっている。入口にキャデラックやビュックが並んでいるからといって驚かずに百円札一枚持って上るべし。永瀬氏は人づき合いのよい、江戸っ子で、趣味は釣。東京釣友会の会長を勤めるのもその腕が買われてのことだ。道楽はこれ一本であとは家業に専心している。秘伝の"さくら鍋"の製法も別に隠し立てせず、誰にも気軽く馬肉のおいしい料理法を教えてくれる親切さも頭が下る。永瀬さんとはそういう人だ。けだし、人、味共に人々に賞讃されるゆえんであろう。

大衆ソバの元祖　無類の親切・丸八

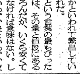
つまり、銀座西二丁目五、銀座二丁目五、茅場町二丁目この三ヵ所に店舗を出し、丸八のそばかそばの丸八かといわれて繁昌している店がそれだ。

大衆的という言葉の最もぴったりするのは、その量と値段にあるのはもちろんだが、いくら安くてもうまくなければ意味はない。しかし朝といわず、昼といわず、夜といわず、いつも満員のこの店を……

"大衆的"とか"大衆酒亭"とか、曰く大衆の文字は巷に溢れて捨てる程あるが、この言葉の創まりは丸八のソバだとは専らの定説である。

一度覗いてみると、食べなくても"うまいんだろうナ"と感嘆せずにはいられないから不思議である。値段の一例を挙げると大盛り中華そば50円、串カツ15円。コロッケ10円。牛めし大盛り60円である。

店主は浅田茂氏で、人柄の良さは付近でも有名だ。例えば残り物などキレイに保存し、乞う者があれば喜こんで与えるというのもその一つ。こうしたことは並大抵の親切心では長つづきしないがもう何年もしていると聞けば人ごとは思えず涙ぐむ人もあるという。



丸八 主人 浅田茂氏

観音さまのとりもつ縁　国松金銭登録機にまつわる秘話

日本で初の金銭登録機を完成発売し、日本のみか諸外国へも輸出。その実用新案登録だけでも百を超え、特許局への納金は各界を通じて常に第一位にあるという、異常な発展をなし遂げた『国松金銭登録機株式会社』とは一体何者か。ここにその発展の歴史をひもといてみよう。

社長熱田栄助氏はこの道に一生を捧げる、といい切っているが、その動機はたんなる儲け根性ではない。千葉県八日市場の一農家の次男として生れ。高等小学校を卒業するや法律家を志して上京、ただちに某政界人の秘書となったが、生家の思わぬ不幸で初志を断念。絶望的な気持で日ごろ信仰する浅草観音を訪ねたのが、この道へのチャンスとなった。

彼はこれを観音様の引き合せといっているが、兎も角そこで知り合ったのが一代の発明家国松四郎氏であったのである。以来、二人は意気投合し、協同して国松氏の発明を助けて進んだ。事業らしい形態に入ったのが大正八年というから今から三十六年前である。

それから道はけわしかったが、二人の結束は固く、手提金庫、金銭登録機を主軸として挺身、業績は年毎に伸びて昭和二十四年に株式会社『国松商会製作所』となり、更に二十九年現在の名称となった。目下蔵前三の12に新社屋を建設したが、何しろ欲のない人物で、しかも侠客肌のサッパリした所が人々に慕われ、家具類など何一つとして買わなくても自然に集まるという程の人気だ。



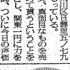
国松金銭登録機KK 社長 熱田栄助氏

藤印に一生を賭ける　花嫁わたの吉村氏

"藤印"で名高い『花嫁わた株式会社』は荒川区日暮里五ノ七九〇に本社をもっている。努力と誠実、真面目なものを売って人に認めて貰うということを終生の目的とし、関東一円に力をそそぎ五年間、ついに今日の声価を獲ち得た社長吉村武雄氏。

創業は先々代で土地は静岡、明治二十三年である。現在地に移ったのは大正七年、現社長は三代目だというからのれんは古い。したがって吉村氏もこの繁栄は先々代からの努力の集積だと謙そんするのであろう。

しかし、何といっても"藤印"の今日あるは現社長の功績が最も大きいとは衆目の認める所だ。包装用紙の印刷から、マークの使用についても業界のトップを切ったし、綿の商品として完成したものもここが創始。従業員七十余名を数え、宣伝カーも二台もち、完備された工場で他社の二倍から三倍能率を上げるのだからかなわない。売るだけではなく、女学校や会社社宅などに布団作りの講習会に歩く程の熱心さも、日頃"男はファイトが第一"という信念の実践であろうか。毎月二十六日には生産会議を開いて従業員の声をとりあげ、改善に務めているという。

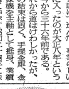


花嫁わたKK 社長 吉村武雄氏

植木から造園へ　東京植木株式会社

東京には珍らしい造園師として名を挙げた人に横溝政雄氏がある。世田ケ谷区若林町二四に住み、同所に『東京植木株式会社』を経営しているが現在では植木より造園に主力を注いでいるという。東京都造園建設工業組合の組合長も勤め、資本金二百万円、一度事業に失敗したので、かなり縮少したというが、まだまだその規模は大きい。

生家は代々の百姓だったが実父が傍ら造園をやったという芸術性を受け継いだのだろう。昭和五年農大を出て間もなくこの道に入った。造園のほかゴルフ場の芝生造りもやる。

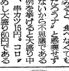


東京植木KK 社長 横溝政雄氏

現物直売で好評博す卸商『小泉時計店』

台東区竹町一二二番地の『小泉時計店』は、カタログ販売の多い時計業界にあって、独り現売主義で業界を往く卸商、明治時計の全国総代理店である。自家用車四台をもち、社長小泉勝氏も一セールスマンとして社員と共に都内外を縦横に駈け回っているが、遠地の小売店にも親切を持って行くとあって好評嘖々だ。

社長は商業学校を出て十八才で業界に身を投じ、昭和八年独立した。自転車一台で飛び回った苦難時代から、今日まで二十二年、その成功ぶりは眼覚ましい。



KK小泉時計店 社長 小泉勝氏



押し切られた砂川の抵抗

ピケ隊ついに解散

平和解決の交渉へ

行動隊長ら25名を検挙

【砂川発】都下砂川町の立入り調査は十四日も引続き強行され、五日市街道三番地区一帯の強制測量が行われた。この朝警視庁では前日同様予備隊二個中隊約千名を動員、地元側も奇襲に備えて同朝四時半すぎから町民、泊り込みの支援労組員を招集、測量が予定されている五日市街道三番地区入口から四番地区にかけて幾重ものピケラインを張った。警官隊は七時二十五分すぎ予想通り五日市街道の三番地区から侵入した。同八時五分実力行使に移り、座り込む地元、労組員をゴボウ抜きのように排除するとともに、ピケ隊の先頭に立つ内野全町行動隊長（町議）田中反対同盟副委員長、宮崎第一行動隊副隊長ら二十五名を道路往来妨害で検挙した。十時すぎ林都労働局長らの調停でピケは解かれて話合いに入り、測量は急テンポで進んだ。

この間渡辺調達局不動産課係長指揮の測量隊十名は地元側と警察官のもみ合いの間をぬって三番地区に入り、同八時三十五分立川基地第三ゲート付近にきょう最初の杭を、次いで同九時現在までに第二、第三、第四の杭を拡張予定地に打込み午前中に十本の杭打ちを終り、午後からは篠崎九一さん宅（五番地区）を手はじめに条件派の農家、農地の精密測量に移ったが、午後はまったく妨害もなく快調に進んで四時五十分この日の測量を終った。

なお林都労働局長、同菊地労政部長らが早朝から現地におもむき宮崎砂川町長、小林闘争委員長らと会見「これ以上の流血惨事を起すことは双方にとって『忍びない……』と説得につとめた結果、宮崎町長らも林局長の斡旋に応じ十時すぎピケ解散、午後都庁で安井都知事と会見……


鉄帽もモノモノしくピケ隊を切りくずす警官隊

陛下、法相らを招きご会食

天皇陛下は十四日正午から花村法相、佐藤検事総長以下検察長会同に参集した花井東京、宮本大阪、堺名古屋、岡本広島、草鹿札幌、市島福岡、安井仙台、小坂高松各検事長らを表一の間に招いて高松宮さまも御列席のうえ昼食会を催された。


測量隊により刻々と打ち込まれるクイ

測量は急テンポ

第一次調査あす完了

強制収用に必要な

[illegible]

並木警視ら警官18名負傷

「……で土地提供賛成が前提でなければ話にならない」……うち氏名の判明したものは砂川町会副議長田中君典、農業笠原照雄、行動隊副隊長宮田弘、闘争委員青柳政雄、農業清水茂、木村正治、砂川町議内野茂雄、村松金蔵、労組員中条之町の十一名だった。警視ら十八名の警官が……騒ぎで第一方面予備隊長……一週間の傷を受けた。

警官、カメラ奪わる

【砂川発】警視庁弘報課の話によると同課の長島照雄巡査部長は十四日朝七時五十分ごろ砂川町郵便局付近で警官隊と地元側のもみ合いを撮影中ピケ隊員にニコンカメラ（時価七万三千円）を奪われた。直ちに犯人埼玉県蕨町三〇六金日通川越支部員柿村元太郎(三)を立川署員が強盗容疑で検挙した。この検挙でピケ隊が騒いだが、都議らのあっせんでピケ隊はやっと納得した。

18才の青線マダムも

吉原、新宿の少女売春宿ヤリ玉

[illegible]

……「歌舞伎」田村マキ(三)同区東町一二七本橋花子(元)=仮名……同区新宿二の五七「エンゼル」……井文男(三)台東区浅草新吉原京町四「やしう」石川やい(三)同……浅草新吉原京町二の一九「アゲ……ン」臼山キミエ(三)の八名を児童福祉法違反、婦女管理、売春強要などの疑いでそれぞれ逮捕、少女四名（十五才一名、十六才二名、十七才一名）を保護した。調べでは金ら八名は最近のデフレと取締り強化で客足が少く営……

四百九十名が中毒

練馬の慈雲病院患者ら

十四日朝都衛生局に入った報告によると練馬区関前町四の七二三慈雲病院（院長酒井子男氏）で武藤富士子さん(三)ら入院患者と従業員四百九十名がさる六日から十一日にかけて下痢、腹痛などの中毒症状を起した。同病院は精神病院で現在従業員二百名、患者八百名がおり、総員の約半数が中毒にかかった。原因については同局で調べている。

赤ちゃん抱いて少女はねらる

十三日午後七時ごろ品川区大井北浜川町一二四七塗装業望月吉之助さん次女美知子さん(三)=同区立浜川中一年=は知人の同町一一〇三会社員飯田政晴さん長男政樹ちゃん(二)を抱いて同町一四四七先京浜国道を横切ろうとして品川方面からきた大田区大森三の一六三東横タクシー荒井島吉(三)運転手のタクシーにはねられ美知子さんは頭、腰に全治三週間、政樹ちゃんは顔に十日間の傷を負った。

警官装い恐喝

売春宿などから五万円

蔵前署では十四日墨田区石原町二の一〇印南電気工業会社工員塩谷国定(三)を恐喝の疑いで送検した。調べでは塩谷は去る七日夜八時ごろ台東区浅草田中町一の一〇飲食業船越幸雄さん方に"蔵前署の保安係だ"と名乗って訪れ『お前の所でエロフィルムを上映していることは判っている近いうちに手入れをするぞ』とおどし二千円相当の飲食をしたほか、去る五月初旬ごろから九月初旬までの間、同様手口で保安係巡査になりすまし、浅草付近のポン引、エロ行為実演者や売春宿などを訪れ"近く手を入れる"とおどし、二十件約五万円の金品を恐喝したり、女を抱かせてもらっていたもの。

聴取料サギで三万円

ニセNHK社員捕う

高井戸署では十三日夜荒川区日暮里町五の八〇八前科二犯電気工夫菅原仁(三)を詐欺の疑いで逮捕した。調べでは菅原はさる六日午後二時ごろ北多摩郡国立町西区三〇五会社員熊野実さん方を訪れ、妻英子さん(三)に偽のNHKの身分証明書を示し、聴取料二百円を騙しとったのをはじめ、今春ごろから都内山ノ手方面で同様手口の聴取料詐欺百五十件、約三万円をかせいでいたもの。

包丁で脅し恐喝

池袋、マスターら三名挙る

池袋署では十四日朝までに豊島区池袋二の一一四四飲食店『スミレ』のマスター出崎哲二(三)同バーテン住谷清(三)同ボーイ佐々木満(三)の三人を強盗恐かつ容疑で逮捕した。調べによると同人らは店が不景気なため小遣い銭に困りだった豊島区高松町一の一八佐々木みよ子さん(三)方に刺身包丁を持って『お前は随分と迷惑をかけた、食費三千円をだせ』と脅し、オーバー、洋服など数点二万円相当を強奪したもの。

巣鴨の辻強盗捕う

巣鴨署では十三日夜住所不定無職英（はなぶさ）誠三(三)を強盗容疑で逮捕した。英は去る七日夜豊島区西巣鴨二の二二二六先同道で一の三三五四女給岩渕唯子さん(三)を脅し腕時計一個と現金百円を奪った疑い。



煩悩を去る食欲

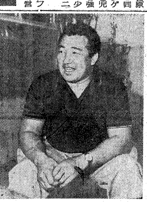
○…とりどりの果実を盛合せた籠が店頭にスラリ豪華を競うか。そしてまた、ツヤツヤと光沢のあふ肌の肉体美のあちこち……

[illegible]



東南ア選手権を争う

キングコングらと対戦


出発を前に語る力道山

力道らシンガポールへ

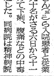
プロレスラー力道山はプロレス東洋選手権確立の会議と東南アジアプロレス選手権大会出場のため東富士とともに十三日夜十一時四十五分空路羽田から遠征の途についた。以下は力道山が空港で語った遠征の抱負と、オルテガ一行との巡業こぼれ話。

○…こんどの遠征は十六、七、八の三日間シンガポールで開かれる東南アジアプロレス選手権大会に招待されたためだ。現地には四十八貫のキングコング、タイガー・ジョーという国籍、力量不明の怪物、インド相撲から転向した六十六貫六尺五寸という大巨人などとシングル、東富士とともにタッグを争う。怪物ばかりだが頑張るつもりだ。二週間の予定で今月末帰国、そのころにはアメリカのテレビタッグ・チャンピオンのハロルド・サカタ、ブラザース東郷一行の来日もきまるかもしれない。世界選手権者ルウ・ティーズとのタイトルマッチも出来ることならこちらへきて戦いたいと希望を伝えているが、十月末までにルウ・ティーズがスケジュールの関係で来られなければ渡米するつもりだ。

○…ところで、オルテガたちとの試合はどこもかしこも巡業は成功だった。悪役オルテガ、カーティス、二枚目のオルトンと外人選手も粒がそろい—東富士の顔見世でもあったし平均八千から一万のファンを集め、プロレスファンの多いのに驚いた。なかでも高知大会は昔相撲時代巡業した相撲場でやったが、駅から会場までの沿道に八万から十万という人が出て四里もの山奥から夜通し歩いてきたという七十婆に『あれまあ…これが人間さまかねエ…』なんて腹をさすられたりで閉口した。

○…高知は土佐犬の名所だけあってファンも声援がとくにすごかった—熊本では木村政彦君がたまたま用があって関西の方にいって不在のため会えなくて残念だったが—国際プロレス団関係の人々とも会ったし、木村君の経営するキャバレー『キムラ』にはみんなで行ってきた。熊本のあるヤクザが"おいリキお前はいい度胸だなあ—去年木村先生をあんなにひどい目にあわしておいて"とドスをきかしてきたんだが、何の悪びれることはない—どんな方法でも相手になるといったら仲よくしようと折れてきた—

○…協会ではオルテガたちのためにベッドの施設のある宿を探すのに閉口したらしい。宮崎では汽車が午後七時までしかないので試合開始を陽のカンカン照る三時にひきあげてやったが、炎天下の試合は観客よりもレスラーがのびてしまった。とにかく優秀な外人レスラーを大いに招待したい。



【立川】

武蔵野市営第二回立川競輪は十五日を初日に連続四日間行われる。今回は四日制を採用して正午スタート、十二レースを実施。

◇A級=優勝候補は豊田茂、渡部任、明石和、相沢昭、吉野泰、黒田勝らの強豪連だが、うち勝負強い豊田がこのところ調子を上げているので最有力。マーク巧者の明石も油断できず決勝進出したらとくにうるさくなってくる。一般戦では御園金、平喜、寺内静が活躍しよう。穴は元気な大竹光。

◇B級=小林伸、長谷川保、小田倉則が決勝目指そう。神奈川の石井昇の先行は粘りあるだけに見逃がせず運の上下にはハズせない存在。（啞雷京一）

あすのスポーツ ▽プロ野球トンボ対東映ダブルヘッダー（四時半、川崎）▽東都大学野球リーグ農大対専大、駒大対日大（零時半神宮）▽庭球毎日トーナメント（十一時、パレス）▽競馬 大井

独眼灯

○…八つの色にめまぐるしく変るという珍しい動物カメレオン夫婦が戦後初めて西宮市阪神パークにお目見えした。

○…体の長さ約十四センチ、生後一年だがもう一人前、北アフリカから中央アジアにかけて生息し三十二度ぐらいの温度が必要だという。

○…ある人が匿名で寄贈したものだが、ヒキ肉、果物、こん虫などが大好物。見物のよい子たちもちょっと気味わるそうだ。

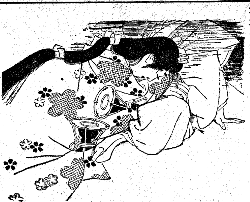

【写真は手のよにのったカメレオン】

続 情炎の千代田城

岩崎栄・寺本忠雄画　（239）

春 怨（八）

[illegible]



[illegible]

『あれ！』

映画の秋 賑う話題

秋のシーズンを迎えた映画界は大作、問題作の製作で大変なにぎわいをみせている。そうした中にも種々雑多な話題が山積みされている。そうしたところを幾つか掘出して焦点を合わせてみよう。

つめ腹きった 三輪プロデューサー 〝五社協定延長〟の再出発に

三輪礼二氏　星野和平氏　渡辺邦男氏　大蔵貢氏

その成行きが注目されていた五社協定は、九月末で一応期限切れとなるが、二年延長することになった。……スターをぼんぼん使っていた東京映画はいわば五社協定のアナで、東宝以外の各社にとっては全く面白くない存在だった。……氏は東宝小林一三社長に呼ばれ叱責されたというが、この時から彼の辞職は関係者間には時間の問題とされていた。結局スターをしばる協定が皮肉にもプロデューサーに波及したという悲劇の第一幕だったわけでもある。

クサル聖林プロ

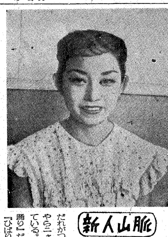
すでにまどかグループが『花ひらく』（原作伊藤整・演出藤原杉雄）を完成したのにつづいて、にんじんくらぶも去る十日から第一回自主作品高見順原作『胸より胸に』（演出家城巳代治）の撮影を開始した。ここにあれをとどめたのは当初からこの作品を協同製作すると豪語していた聖林プロで、製作費の予算が折り合わぬことからついにこの『胸より胸に』から手を引いた。その上中央映画と名ばかりの製作をやった『由起子』を完成したとたん、同プロの筆頭プロデューサーにもいくばくかの金を使いこみされたとかですっかりクサっている。従って同社が出演契約と称して各スターに打った手金も、いまとなっては本当に本人達の手に渡っているものかどうかも判らないのだそうだ。

大蔵氏、新東宝入り？ 一億円の持参金つきで

一方この五社協定にトンと熱が入らなくなっているのは新東宝で、……運動」という戦時中のスローガンのようなものまでかつぎ出して、傾むいた屋台の建てなおしをやっている。……現在大蔵氏は実弟近江俊郎の主宰する富士映画の重役でもあり、また日活の中堅株主でもある。そこで彼が新東宝入りをした時には大蔵興行系の劇場には新東宝の作品が上映されることになるわけで、富士映画を通じて日活との微妙な結びつきも出てこようというものだ。これについて大蔵興行の某氏は『オヤジが新東宝に入るという話はきいてないが実現する可能性はある。しかしもともと日活育ちの人だから、新東宝に入っても日活と縁を切ることはないと思う』と語っている。こんなところから早くも五社協定は四社協定となり対抗する日活と新東宝の二社協定ができるという非常事態も囁されている。

美人揃いの神田パリス

[illegible]

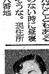


新人山脈

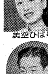
鳩笛恵子 ＝SKD

▽…いまは舞台を去って映画スターとなった草笛光子に私淑しているという彼女の十八番はやはり声楽で、先輩の歌の代役にはしばしば狩出されるというラッキー・ガール。五尺一寸、十一貫八百は少々小柄過ぎるきらいはあるが、まだ二十才と半年余りだから柄も貫も伸びる可能性は十分にある。昭和十年一月荏原で生れ、本名は山口史子。だれがつけたともなくいつの間にやらニャンコという愛称で呼ばれている。初舞台はこの春の『東京踊り』だが、その前に一昨年九月『ひばりの陽気な水兵さん』で国際劇場の舞台を踏んだこともある八期生、レッスンのない時に昼寝するのが大好きだそうな。現住所＝大田区上池上九八番地

ひばり・松蔦の共演実現か 錦之助は新芸プロと手を切る？



美空ひばり



市川松蔦



中村芝雀

またひところは人気ナンバーワンの美空ひばり、中村錦之助を抱えて、飛ぶ鳥を落す勢いといわれた新芸プロが、ひばりの五十本映画出演記念作『たけくらべ』で一千万円の赤字を出し、その上錦之助とひばりの意見も合わなくなって、錦之助は新芸プロから別れるという噂も伝わっている。事実この二人は『海の若人』以来共演した作品もなく、二人の不仲について種々の臆測も飛んでいる始末だが、ひばりはこんど東映で『振袖小天狗』を撮るのを機会に、猿之助劇団の市川松蔦を相手役として目をつけ、彼が中共公演から帰ってくるのを待って是が非でも一作ものするのだといっている。

狙われる芝雀 四社が争奪戦？

まったく歌舞伎若手の映画入りはこのところ目覚しく、この松蔦以外にも新たに日活が中村時蔵の次男芝雀をねらい運に交渉しているというが、彼は錦之助、賀津雄の兄でもあり、兄弟のなかでは一番美男子で映画向きとあっては、いままで映画界からさそいが掛らなかったのが不思議なような話だといっている。目下のところでは大映、宝塚映画、新東宝、日活四社間の引抜き戦だが、日活の線が一番濃いとみられており、もし日活となれば、もちろん舞台はお別れということになるわけだ。

そのほか伴淳、清川虹子らの日芸プロが大映との提携で第一回自主映画火野葦平原作『どてら婆さん』も考えているとあって、映画界の秋は文字どおり多事多難な問題を残している。

チャンス到来 ⑲



今年二十本出演狙う 性格も地味なサラリーマン型

佐竹明夫（松竹）

（仕）事のない日が三日続くとイライラして来るそうだ。もっとも彼はもと三菱のサラリーマンであったから根は大変キチョーメンなのである。『そりゃ完全に予定が一と月ないとハッキリきまれば、ぼくは好きな山にでも出かけちゃいますよ。しかしいつ撮影所、本社あるいは新聞雑誌から呼出しがあるかもわからないでは遠出もできませんし……実はきょうがその三日目なんですが、インタビューの仕事をいただいて大変ありがとうございました。けさはそれで五時に目がさめちゃいまして――』と非常に腰が低くてインギンだ。しかもそれが不自然でなく、下に『無礼』の二字がつかない。

（三）日も遊ぶと…という君、この五月に新東宝から松竹へ移った彼はモリモリと仕事をやっているのだ。八月までの四ヵ月間に『貝殻と花』『奥様多忙』『美わしき歳月』『愛情会議』『燃ゆる限り』『荒木又右衛門』『おんな大学』と何と七本、平均一と月に二本という勘定。それでも彼は飽き足らず『ついこの前も高村所長にお会いしたとき、ことしは二十本くらい出させて下さいってお願いしたんですよ。だっていまの調子で行くと二十本は軽いんですから』と大変なハリキリ様だが『いえね、新米のウチにうんと実績を作って勉強もし、認めて貰って、それからですね、脚本を選ぶなんてことは……』というものの、映画界へ強引にひっぱり出されたのは谷口千吉演出の『死の断崖』からだから、もう五年もこの世界でメシを食んで来た。大方の運中なら二年も経てば〝スター様〟になるところだが、そういう点彼は地味である。

（そ）んな風だから彼の抱負も『役柄では先輩に小林桂樹さんなんかがいますが、ぼくも典型的なサラリーマン役で押して行こうと思うんですよ。案外これはアナだと思うんですがね、どうでしょう。だから日常でも〝あ、あれはどっかの俳優だな〟なんて思われるような派手な格好はしたくないし、ぼくの顔を知らない人にはたとえ撮影所から出て来ても、事務員か何ぞだろうと思われる程度でありたいですね』といっている。もとの芸名は片桐余四郎、青侍みたいな名だったのを昨年秋新東宝の芸術祭参加作『鶏はふたたび鳴く』ロケ中にいまの名前に変えたわけだが、これを考えてくれた五所平之助監督は佐分利信、佐野周二の名付親だそうで、その二人にあやかり、かつ三人目の命名だから〝佐〟の一字をとり〝竹〟のようにスクスクと〝明〟るい感じの俳優で、いまは独身でも近いうちに〝夫〟になるだろうからという次第なんだが、五所監督の忠告をいまもリチギに守り、同業とは恋もしない、見知らぬ女の子を釣り上げるほどの不良性もない。従って現在、二十九才の年ごろであるが、近々〝夫〟になりそうな気配は、目下のところなさそうだ。

歌舞伎ト手刈ばなし エプロン・ステージ

まるでスポーツの観衆 踊る足許にからみつきかねぬ女の子 東宝歌舞伎 長谷川も足ふみ外す

（な）んといっても近ごろの話題をさらったものは東宝歌舞伎の四大スター顔合せの企画と圧倒的な入りだった。八百円の切符にプレミアムがついて五千円にまでハネあがる騒ぎに危険防止の建前で消防署から毎日三、四回も超満員の場内を臨検に来た。そのため劇場側では、計算に入れてある当日売りの補助席を発売することができないので頭痛ハチマキだったが、お目玉を覚悟で、わずかに千秋楽の三十一日だけを売ってホオかむりするなど苦しいナンセンスもあったりした。

なにしろ中幕の舞踊『春夏秋冬』で、ぎっしり満員のエプロン・ステージにまで出て踊るのは、さすがの勘三郎も舞台げいこのときから大テレでいたが、初日にはカーッとなって危くマ（間）をはずしそうになったことも再三だったという。

（だ）が中日（なかび）過ぎともなれば、この華だけが楽しめて、毎日ご機嫌の体だった。とにかく東宝の舞台では戦前から、いちばん場数（ばかず）を踏んでいる筈の長谷川一夫が、三日目ごろの舞踊組曲のなかの『地獄門』で大ゼリに足を踏みはずし、暫く繃帯を巻かねばならなかった。勘三郎、歌右衛門、扇雀、長谷川と四人がエプロンに揃うと、熱狂する女の子たちが芝居というよりスポーツの観衆みたいな興奮を示し、いつ足もとへからみついてくるか判らないので、踊っている当人たち以上に付人や幕内ではハラハラ気が気でなかったという。

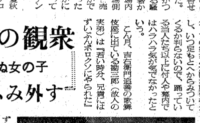
こんど月、吉右衛門追善の歌舞伎座に出ている勘三郎（故人の実弟）は『若い時分、兄貴にはずいぶんボロクソにやられた』と語っているが、こんな話があった。

或るとき地方巡業で『熊谷陣屋』が出た。舞台で〝熊谷〟の吉右衛門は、勘三郎の〝藤の方〟に向い、セリフの合間に小さな声で『何をしてるんだ。ヘタクソで見られたもんじゃない』とコキ下ろした挙句『藤の方に、まず』というセリフを、わざと『藤の方にはまずい、まずい』とやったものだ。

六代目も随分きびしかった。勘三郎が手をとって教えられたのは、踊りでは『鏡獅子』だけだったそうだが、三越歌舞伎のとき、いちども『きょうはよかった』といわれたことがない。『いっそ窓から飛びおりて死んでやろう』と何回も思った。だが『その場で見てたって、とめるような人じゃないからね。そこで思いとまったよ』とよく語っている。

（ま）た彼は三枚目のものも好んでやり、演舞場で『弥次喜多』をやったときは客席へ飛びこんだり、三階席までまぎれこむという放れ業をやらかした。名古屋の御園座でやったとき、道玄召捕りで客席へ逃げこんだが、道玄の坊主頭と間違えて捕手が押えたのが、なんと御園座重役氏のハゲ頭。『これは失礼』と恐縮していると『こっちだこっちだ』と勘の道玄が手まねぎしたので、見物はゲラゲラ大喜びをしたという。

（松田龍山楼＝劇通）



東宝歌舞伎『春夏秋冬』の舞台面

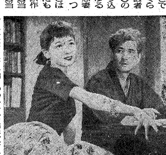
映画やぶにらみ

変りダネ〝恐妻もの〟

花ひらく＝（まどか・新世紀）

▽…女房（山田五十鈴）恐怖症におちいった中年の劇作家（佐野周二）が主人公。彼はとある劇団から新作の執筆を依頼されているのだが口やかましい女房の監視の下では筆は全く進まない。そこで突然姿をくらまして歯医者（佐田啓二）の居候に転り込む。いわゆるこれも〝恐妻もの〟の一つだが、そこはまたいかにも伊藤整の原作らしく、適当に冗舌で適当にかいぎゃくもあり、適当なスマートさで話は軽やかに運ばれる。演出藤原杉雄。

▽…著名作家ナゾの失踪！というわけで、やれ桃色、さては流行の鉄のカーテンの彼方への亡命かなどと世間は騒ぎたてる。怪しげな公安調査庁の男（細川俊夫）をうろつかせたりもするのだが、これがどろくさい一歩手前でとどまっているのはいい。まずまずちょいとした世相への皮肉というべきだろう。ところで作家の隠れ家の隣りには新劇女優の卵（桂木洋子）が住んでいる。彼女は彼の正体を知りつつひそかに接近して来る。アプレ娘らしい人生の割切り方を桂木洋子がピチピチと明快にも



その一場面、佐野と桂木

はと笛

▽…『こころ』がクランク・アップして『江戸一寸の虫』に入るまで一週間ほどひまのできた日活の新珠三千代が、三ヵ月ぶりの骨休めと出かけたのが伊豆の温泉だった。

▽…所がいつもは朝から晩まで仕事仕事と追いかけられているので温泉の夜などは退屈でたまらない、そこでブラッと街を散歩したついでに近くの映画館に入ってみて驚いた。彼女が出演している『あした来る人』を上映中で、しかも三橋達也と猛烈なキッスシーンだったという。あわてて飛び出した彼女『いまさらながら、胸がドキドキしちゃってシンドイヴァ』とは何と気の弱い。



【写真は新珠三千代】

一生男で苦労の性か　取ってすてたい泣ぼくろ　選者

◇

浮気がえりの終電車　なんと言い訳思案にゆれる　向島・君福

通して貴郎と添い遂げる　この儘どこまで女の意地を　赤羽・浜野浮舟

二人に淋しい路地の月　逢ってはならない恋しちいけぬ　文京・木村いつ秋



都々逸

小沢扇太郎選

淋しいあたしの気持ちのように　途切れとぎれにすだく虫　渋谷・志ば山

覗く鏡に秋冷えびえと　増えた小鬢の白いもの　長岡・鈴木六化仙

催し

宝生会別会能 二十五日正午、水道橋能楽堂。『景清』シテ武田光雲、狂言『三人片輪』三宅藤九郎、仕舞『雨月』宝生九郎『松風』シテ宝生英雄、仕舞『実盛』野村諭『藤戸』大坪十喜雄『望月』シテ野口兼久。

募集

劇団人生派クラブは文芸演出部、演技部、美術部を若干名募集。男子は二十才以上、女子は十六才以上で何れも経験の有無を問わない。締切は二十一日、申込みは北区滝野川町六八高沢方へ履歴書郵送のこと。

おしゃべり横丁



『暴力教室』以後アメリカ映画の〝強制測量〟を先にすればいいのに……。　――砂川町民

▽…なにしろ一つ釜のメシを食っているグループの連中が主体となってやっている作品だけあって、確かに呼吸があったところはうかがえる。話自体肩の凝らないものだから、これが作品全体を明るい楽しいものにしていることはいえよう。特に愉快なのは作家の娘大学生（田浦正巳）とボーイフレンド（野添ひとみ）の挿話。ボートに乗りながらチャッカリぶりをみせる娘の姿には思わず頬がゆるんでくる。（静）